

シスプラチン含有高度催吐性化学療法における遅発期以降の化学療法誘発悪心・嘔吐に対するホスネツピタントの制吐効果に関する検討

1. 研究の対象

2021 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に国立がん研究センター中央病院においてシスプラチン($\geq 70\text{mg}/\text{m}^2$)含有化学療法を初めて受けられた 18 歳以上の方

2. 研究目的・方法

研究目的:シスプラチン含有化学療法における遅発期以降の化学療法誘発悪心・嘔吐に対するホスネツピタントの制吐効果の実態を明らかにすることです。

研究方法:研究対象者の診療録を後ろ向きに調査します。

研究実施期間:研究許可日～2030 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 患者基本情報(年齢・性別・身長・体重・喫煙歴、飲酒歴 等)、併用薬、治療内容(レジメン名 等)、悪心・嘔吐の発現日、頓用制吐薬の使用日、検査値 等

4. 外部への試料・情報の提供

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関(試料・情報の授受を行う機関すべて)公式ホームページ等にて情報公開いたします。

・国立がん研究センターが参加する研究に関する公開情報

https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/zisshi.html

5. 研究組織・研究責任者

研究責任者:

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 部長 橋本 浩伸

研究者:

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 鈴木 聖也

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都 中央区 築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 鈴木 聖也（研究者）

Tel：03-3542-2511 Fax：03-3248-0730